企画展

原水爆禁止署名運動への道

杉並区立公民館と安井郁
（郷土博物館本館）
すぎなみの市民活動
（郷土博物館分館）



①



②

③



④

令和８年（2026）

2月7日（土）～4月19日（日）

会場：杉並区立郷土博物館本館 特別展示室
杉並区立郷土博物館分館 西棟２階展示室

①杉並区立公民館館長室で署名簿を整理する女性たち（昭和29年）
②「原爆の図 第10部 署名」（部分） 原爆の図丸木美術館所蔵
※実物は本館にて３月29日（日）まで展示。
③杉並区立公民館（昭和40年頃）
④安井郁・田鶴子夫妻（後列中央・後列左）と活動メンバー（撮影年不明）

杉並区立郷土博物館
Suginami Historical Museum
https://www.city.suginami.tokyo.jp/histmus/

企画展

原水爆禁止署名運動への道

昭和29年(1954)3月、マーシャル諸島ビキニ環礁においてアメリカが行った水爆実験で、マグロ漁船の第五福竜丸を始めとする多数の日本漁船が被ばくしました。乗組員は「死の灰」と呼ばれる放射性降下物を浴び、漁獲物も汚染されました。「死の灰」への恐怖や、汚染された魚の購入不安など、国民の生活が大きく脅かされる事態となり、日本各地で水爆実験への抗議や反対の声が上がりました。

杉並区では、当時、区民の学びや活動の拠点であった杉並区立公民館の館長安井郁(かおる)を中心に水爆禁止署名運動杉並協議会が発足し、水爆(のち原水爆)禁止を世界に訴える「杉並アピール」のもとに統一的な運動を展開していきました。老若男女、あらゆる立場の人を結ぶこの運動に対する共感の輪が全国、そして世界に広がり、翌年8月に広島市で第1回原水爆禁止世界大会が開催され、国際的な核兵器反対運動に発展しました。

本展では、杉並から世界へ広がった原水爆禁止署名運動に焦点を当て、その中心にいた安井郁と活動の拠点となった杉並区立公民館についてを本館で、「杉の子会」など杉並の女性たちのつながりを基盤として行われた市民活動に関する内容を分館で紹介します。

関連イベント

各二次元コードより申込または往復はがきに「講演会名・氏名(フリガナ)・年齢・住所・電話番号・返信面の宛先」を記入。1通につき1名、応募者多数の場合は抽選。

郷土博物館本館

講演会・ギャラリートーク

「〈署名〉は杉並から世界へ －原爆の図丸木美術館と安井郁－」

講師 岡村幸宣氏(原爆の図丸木美術館学芸員・専務理事)

日時:2月23日(月・祝)午後2時～午後4時
定員:30名(事前申込制)
会場:郷土博物館本館 視聴覚室・特別展示室

申込期限 2月4日(水)【はがきは必着】

講演会

「安井郁関係資料からみる 原水爆禁止署名運動」

講師 藤田吾郎氏(早稲田大学政治経済学術院講師)

日時:3月1日(日)午後2時～午後4時
定員:50名(事前申込制)
会場:郷土博物館本館 視聴覚室

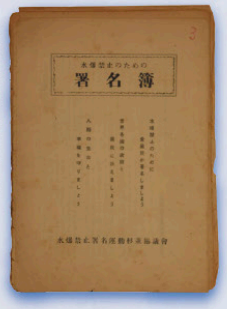
申込期限 2月12日(木)【はがきは必着】

学芸員による展示解説

3月20日(金・祝)、4月12日(日)
展示会場にて午後2時～(申込不要)

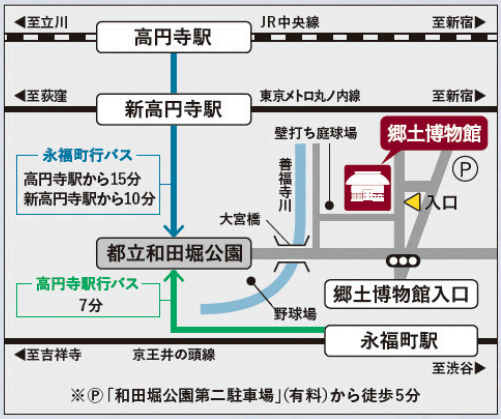
観覧料:100円
中学生以下無料/20名以上の団体は1名80円
障害者手帳等を提示する方およびその付き添いの方は無料

▶水爆禁止のための署名簿





◀水爆禁止署名運動の際に貼られたポスター



〒168-0061 杉並区大宮1丁目20番8号
Tel:03-3317-0841

アクセス
京王井の頭線「永福町」駅:北口から徒歩15分又は「高円寺駅」行きバスで「都立和田堀公園」下車徒歩5分／JR中央線「高円寺」駅・東京メトロ丸ノ内線「新高円寺」駅:「永福町」行きバスで「都立和田堀公園」下車徒歩5分

郷土博物館分館

講演会

「被爆者の声が世界を動かす －杉並から広がる平和の輪－」

講師 永田浩三氏(武蔵大学名誉教授)

日時:3月28日(土)午前10時～午後12時
定員:50名(事前申込制)
会場:ウェルファーム杉並4階 会議室
(杉並区天沼3丁目19番16号)

申込期限 3月10日(火)【はがきは必着】



▲署名活動等で使用されたメガホン

学芸員による展示解説

2月21日(土)、3月28日(土)
展示会場にて午後2時～(申込不要)

観覧料:無料



〒167-0032 杉並区天沼3丁目23番1号
Tel:03-5347-9801

アクセス
JR・東京メトロ丸ノ内線「荻窪」駅北口から徒歩10分
※お車でのご来館はご遠慮ください。

【開館時間】午前9時～午後5時 【休館日】毎週月曜日・毎月第3木曜日(※祝日・休日の場合は開館、翌平日休館)